

## 採用に関する情報はこちら

東京消防庁の業務内容や採用試験、業務説明会についての情報を、「東京消防庁採用情報サイト」で公開しています。



アクセスはこちらから!!  
<https://tfd-saiyo.jp>



入庁後イメージできる! 充実のコンテンツ!!

組織や勤務について知りたい! 東京消防庁で働く

どんな仕事があるのかな? 業務を知る

先輩職員の声を聞きたい! 職員紹介

バーチャルで職場を訪問! 東京消防庁NAVI

女性の活躍について知りたい 活躍する女性消防官

学校では、どんなことをするの? 消防学校を知る



## 東京消防庁公式アプリはこちら

消防の知りたい情報をいつでもどこでも手軽に入手できる安全安心情報ツールです。  
消防署体験や業務説明会などのイベント情報も公開しています。

いますぐ  
ダウンロード!!

iOS版

Android版



主な機能▶

チャットボット

FAQ

緊急連絡

ツール

消防マップ

消防イベント情報

スタンプラリー

ミニゲーム

人事部人事課採用係 採用フリーダイヤル:0120-119-882 (平日の午前8時30分から午後5時15分まで)

TEL:03-3212-2111(代表) 〒100-8119 東京都千代田区大手町1-3-5

東京消防庁ホームページ <https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>

東京消防庁Twitter [https://twitter.com/Tokyo\\_Fire\\_D](https://twitter.com/Tokyo_Fire_D)

東京消防庁Facebook <https://www.facebook.com/TokyoFireDepartment/>



リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。  
石油系溶剤を含まない  
インキを使用しています。

令和3年度職員募集案内

# UNLIMITED

— 挑め、己の可能性を信じて —





# UNLIMITED

— 挑め、己の可能性を信じて —

約1,400万人の人々が暮らす世界有数の大都市「東京」。多くの人々が暮らすだけでなく、首都としての機能が集約されるとともに、ダイナミズムかつグローバルな経済活動が日夜途切れることなく行われている。

そのような大都市「東京」で生きる人々の大切な命を守るために、それぞれの部門で最善の災害対策を打ち出し、速やかに実践する力を養わなければならない。

このミッションを果たすべく、あらゆる災害を想定した厳しい訓練に汗を流す。

私たちが突き動かすものは、「首都・東京を守る」という揺るぎない決意と己の限界にチャレンジする強靱な意志にほかならない。

困難に直面しても、自分の可能性を信じて前に進む。そんな仕事に対する一途な想いが、「無限」という可能性の扉を開く。

### Contents

組織概要	04
東京消防庁の主な業務	06
隊の仕事   ポンプ隊   特別救助隊   救急隊   はしご隊	08
係の仕事   予防係   防災安全係	12
本庁の仕事   総合指令室	14
一般職員の仕事   事務職員   自動車整備士	15
女性消防官紹介	17
部隊特集   消防救助機動部隊   デイタイム救急隊   ファーストエイドチーム	18
全国から集まった仲間たち	20
消防学校	21
職員のON/OFFと勤務体制	24
キャリアモデル・研修紹介	26
給与・勤務制度・福利厚生など	28
募集要項	30





# 東京消防庁の管轄区域

● 東京消防庁本部	1
● 消防方面本部	10
● 消防署	81
消防分署	3
消防出張所	208

## 都市部

世界有数の大都市である東京。高層マンションや商業施設がめまぐるしい勢いで建設されています。その反面、災害のリスクが高まっているのも事実。街の成長とともに、消防力の進化が求められています。



## 山間部

東京の西側に目を向けると緑豊かな自然が広がり、多くの行楽客が訪れています。高尾山などでの登山や多摩地域でのキャンプなど、楽しいイベントでの万が一の事態に備えて、万全の体制を整えています。

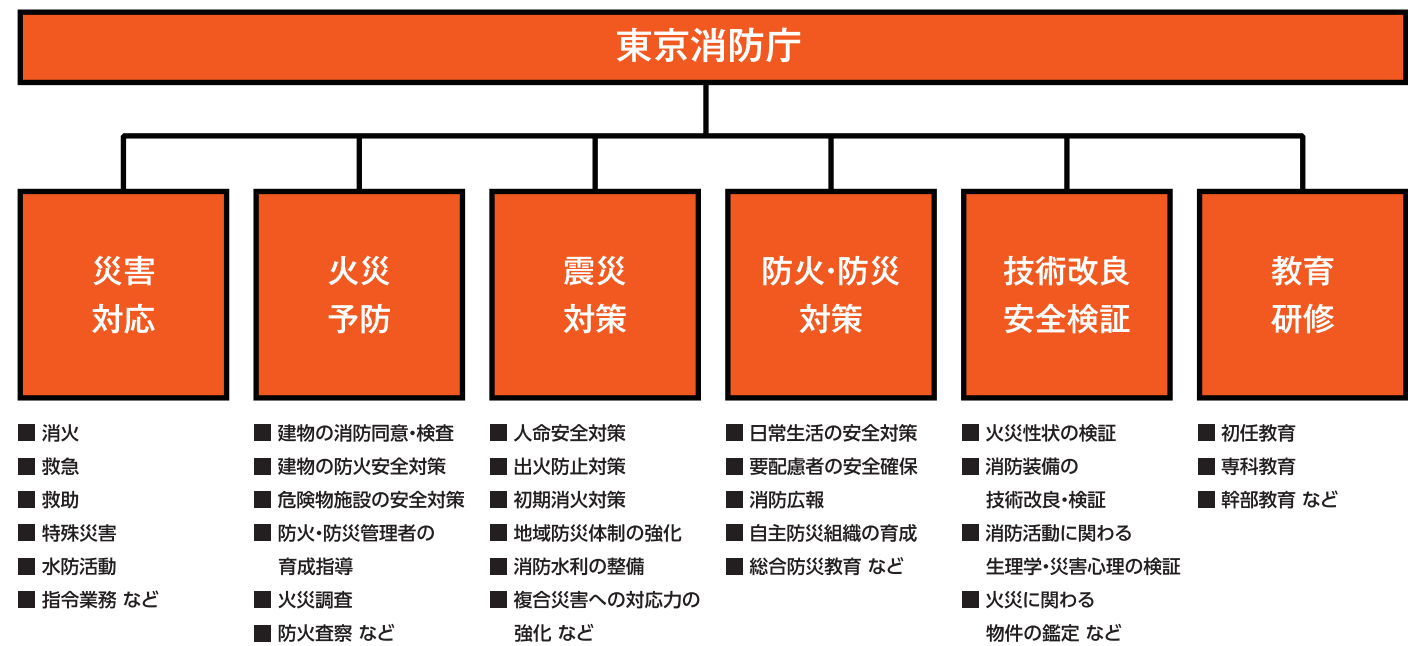


## 沿岸部

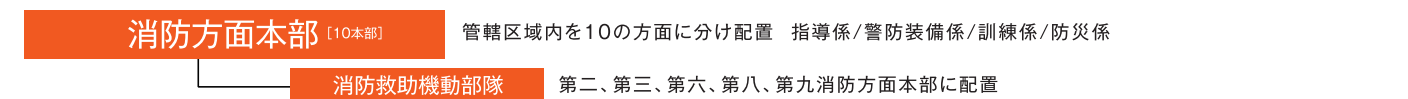
東京湾に面した沿岸部では、高層マンションやコンビナートなどが立ち並び、水難事故や火災発生のリスクをはらんでいます。街中の活動とは異なり、海上という特殊な環境下でも人命救助を全うするために、東京消防庁では特別な部隊や資器材を有しています。



# 東京消防庁の組織



## 組織図



## 災害発生件数

令和2年中の速報値

119番等受付件数	987,582件	火災発生件数	3,688件
救急出場件数	721,020件	救助活動件数	23,549件

## 予防業務の各種件数

令和2年中の速報値

立入検査の対象数 (令和2年12月31日現在)	440,599件	(政令対象物数*1 + 危険物施設等)	430,071件 + 10,528件
建物等の検査件数 (令和2年中)	21,947件	(使用検査 + 中間検査 + 完成検査)	17,161件 + 3,810件 + 976件
立入検査件数*2 (令和2年中)	30,027件	(政令対象物 + 危険物施設等)	28,916件 + 1,111件

\*1「政令対象物」とは、消防法施行令(昭和36年政令第37号)第6条に定める防火対象物です。\*2「立入検査」とは、消防法に基づき建物(住宅、長屋を除く)または危険物施設(ガソリンスタンド等)に立ち入り、その位置、構造、設備及び管理の状況並びに危険物の貯蔵、取扱いについて検査及び質問を行い、火災予防上の不備欠陥事項について関係者に指摘し、自主的な改修を促すものです。

## 職員・車両等の数

令和2年4月1日現在

消防職員	18,661人				
消防車両等	2,078台				
ポンプ車	489	救急車	267	救助車	29
はしご車	86	化学車	48	特殊災害対策車	18
屈折放水塔車	6	消防活動二輪車	20	消防艇	10
消防ヘリコプター	8	(運航受託機1機を含む)			等



# 東京消防庁の 主な業務 消防署



**■ ポンプ隊**  
いち早く現場に駆けつけ、各隊と連携を取り消火・救助・危険排除などにあたります。救急の現場では救急隊と連携した活動も行います。



**■ 特別消火中隊**  
複雑・多様化する災害に対応するための部隊で、消火活動能力の高い隊員で編成されています。



**■ 救急隊**  
傷病者に適切な処置を行い、医療機関に搬送します。各隊には救急救命士が配置されています。令和元年5月より、デイトタイム救急隊が発隊しています。



**■ 特別救助隊**  
高度な知識と専門技術、特殊な資器材を駆使し、火災や交通事故、自然災害などあらゆる災害で、救助を待つ人に手を差し伸べます。



**■ 指揮隊**  
災害の実態や被害状況を現場で把握し、出場部隊全体を指揮します。あらゆる情報から活動方針を決定し、被害を最小限にします。



**■ はしご隊**  
高層階に取り残された人の救出や、高所からの放水を行います。はしごは下方向にも伸びるため、海などへ転落した人の救出も行います。



**■ 消防活動二輪車**  
山岳事故や高速道路での火災・交通事故にいち早く対応します。他車両に先行して出場するため、救急の技術なども求められます。



**■ 化学機動中隊**  
危険物や毒劇物、放射性物質などを原因とする特殊災害現場での人命救助、漏えい拡大の防止、除染などの活動を行います。



**■ 山岳救助隊**  
多摩地域の4つの消防署に配置され、滑落などの山岳事故に対応します。車両が進入できない危険な場所では航空隊などと連携します。



**■ 水難救助隊**  
人が溺れている、車が転落したなどの水難事故に対応します。潜水器具により、水中での救助活動を行います。



**■ 舟艇隊**  
東京港沿岸に位置する3つの消防署に配置され、船舶を含む港湾・河川部の消火・救助活動、火災警戒などを行います。



**■ 消防同意・建物検査**  
消防同意制度により、建物の設計段階から防火に関する審査や指導、竣工後は検査を行い、より安全な建物づくりを推進しています。



**■ 防火査察**  
建物や店舗へ立ち入り、消防用設備などの状況を検査。重大な法令違反には、警告や命令などの違反処理を行います。平成31年4月より、機動査察隊が発隊しています。



**■ 防火・防災管理指導**  
事業所の防火・防災管理者の選任や、消防計画の作成などを指導しています。従業員などに対して自衛消防訓練の指導も実施します。



**■ 危険物規制**  
危険物施設を設置・改修する際の許可や完成検査、危険物流出などの事故発生時の原因究明、再発防止対策など、安全確保に努めています。



**■ 火災調査**  
火災原因調査、損害調査のほか、消防設備の作動・活用状況、延焼拡大の要因、避難状況などを調査して、各種消防施策に反映します。



**■ 震災対策**  
地震発生時に身を守ることを最優先とした行動や、負傷原因となる家具類の転倒・落下・移動防止対策の普及に努めるなど防災指導を推進しています。



**■ 地域防災**  
住まいの防火防災診断や住宅用防災機器などの設置促進を図っています。また日常生活における事故の対策指導や、防災福祉対策推進も重要な任務です。



**■ 防災指導**  
防災行動力向上のため、消火器や起震車などを用いて、自治会や学校を中心に初期消火、身体防護、救出・救護などの指導を行います。



**■ 消防団**  
消防団が効果的に活動できる環境の整備、資機材の配置を行うとともに、災害に備えた活動訓練や防災訓練の指導などを実施しています。



**■ 消防広報**  
広報紙やポスター、インターネットを活用して情報発信を行うとともに、都民の意見を収集し消防行政に反映しています。

## 東京消防庁の 主な業務 本 庁



**■ 企画調整部**  
重要事業計画の策定・進行管理 / 組織整備 / 予算編成・決算 / 広報・広聴 / オリンピック・パラリンピック競技大会の消防対策



**■ 総務部**  
式典・行事などの運営 / 文書の審査・管理 / 法務 / 国際業務 / 各種契約 / 消防庁舎の設計・工事 / 情報通信設備の整備・維持管理



**■ 人事部**  
人事管理 / 人事制度 / 委託研修 / 採用 / 表彰 / 勤務制度 / 給与 / 福利厚生 / 健康管理 / 職員相談



**■ 警防部**  
消防戦術の立案 / 消防部隊の運用計画 / 災害現場指揮 / 消防隊員の技能管理 / 特殊災害の消防活動対策 / 災害通報の受付・出場指令 / 統合機動部隊の運用



**■ 防災部**  
都民生活の安全対策 / 震災対策 / 防災に関する調査・研究 / 消防水利の整備 / 消防団の組織整備



**■ 救急部**  
救急施策の立案 / 救急医療機関との連携 / 救急相談 / 救急資器材管理 / 救急隊への指導 / 応急手当の普及



**■ 予防部**  
火災予防施策の立案 / 建物の防火安全対策 / 危険物施設の安全対策 / 防火査察 / 火災調査 / 事業所の防火・防災管理指導



**■ 装備部**  
消防車両・消防艇・機器などの整備計画 / 消防車両などの製作指導、仕様書の検討・作成 / 正服・防火衣などの改良 / 機関員の技術指導



**■ 装備工場**  
消防車両をはじめ、各種消防機械器具の性能や機能が十分に発揮できるよう点検整備を実施しています。



**■ 消防学校**  
教育計画の立案 / 教材などの作成 / 新規採用者の教育 / 職員の業務研修



**■ 消防技術安全所**  
都民生活の安全化 / 災害活動の効率化・安全化 / 災害実態の分析把握 / 火災鑑定



**■ 消防方面本部**  
方面内の消防署に関連する消防業務の連絡・調整 / 予防業務の指導 / 救急業務の指導 / 災害活動の指揮・指導 / 消防特別警戒の指揮・指導 / 消防訓練の指導



**■ 音楽隊**  
日本初の消防音楽隊として創出し、「地域と奏する防災のハーモニー」をキャッチフレーズとし、防火・防災を呼びかけ、誰もが安心して過ごせる「セーフシティ」の実現を推進しています。



**■ カラーガーズ隊**  
女性職員で編成されており、東京消防出初式や各種行事などで華麗な演技を披露します。多くの都民に親しまれています。



**■ 即応対処部隊**  
大規模な自然災害において、エアポートなどの主要装備により進入困難な地域にいち早く進入し、ドローンを活用した被害状況の把握や迅速な救出救助活動を行います。



**■ 救急機動部隊**  
特定の消防署に属さない、本部直轄の部隊。高度な知識と技術力を持った精鋭が集められ、昼夜で拠点を変えて活動しています。



**■ 航空隊**  
8機の消防ヘリコプターを運航し、消火、救助、救急、情報収集などを行うほか、航空消防救助機動部隊を中心に国内で発生した大規模災害にも派遣されます。





命を守るため、  
己と厳しい訓練に打ち勝つ

キャリアステップ

ポンプ隊員

特別消火中隊員

## 隊の仕事

## ポンプ隊

消防署 特別消火中隊  
平成28年入庁 千葉県出身

ポンプ隊は火災現場での消火・救助活動を行うだけでなく、救急隊と連携して活動するPA連携やNBC災害(放射性物質、病原菌、ウイルス及び化学物質に関する災害)の初期対応などの現場にいち早く駆けつけ、幅広い災害対応を行います。なかでも特別消火中隊は、都市開発や科学の発展により複雑・多様化する災害に対応すべく高度な知識及び技術を有し、火災現場では中心的な役割を担っています。私は、人々や街を災害から守りたいという強い思いで消防官を目指しました。消防学校卒業後は、ポンプ隊員として管轄区域の安全確保や災害対応を行いました。一つとして同じものはない災害現場で安全・確実な活動ができるよう、上司や先輩の実体験に即した様々な状況を想定した訓練を重ね、自身の技術向上と知見拡大

に努めています。特別消火中隊の訓練は難度が高く、最初は訓練についていくことで精一杯でした。しかし、訓練後に自分の足りない部分としっかり向き合うことで、現場での自身の行動が隊全体の動きに影響することを実感し、仲間と信頼しあう人を助けたいという気持ちが強まっていきました。日々の厳しい訓練によって集中力と緊張感が研ぎ澄まされ、周囲を冷静に観察し「自分ができることは何か」と一歩先を読んだ行動ができるようになりました。こういった姿勢は、仕事だけでなく自己啓発にもつながり、さらにできることを増やすため、ポンプ車の運転やポンプ運用を行うことができるポンプ機関技術を取得しました。今後は、より一層厳しい訓練を重ね、幅広い対応力を備えた隊員、将来は隊長を目指していきます。



## 隊の仕事

## 特別救助隊

消防署 特別救助隊  
平成27年入庁 埼玉県出身

高校に入学する直前の春、父から「自分は若い頃に消防官を目指していたが、叶わなかった」と聞いたことが消防官を目指すきっかけとなりました。父の昔の夢を聞いてから消防官について調べているうちに、消防官になりたい気持ちがどんどん湧き、首都東京の安全を守る東京消防庁の消防官になることを決めました。当初は、特別救助隊員になるとは考えていませんでした。しかし、ポンプ隊員として列車の事故に出場した際、特別救助隊が懸命に救助活動を行う姿に感銘を受け、私の中で「特別救助隊員になりたい」という気持ちが生まれました。その後、同じ消防署の特別救助隊を間近で見ているうちに、隊員同士がアイコンタクトで動けるほどチームワークを大切にしていることを知り、私もその一

員になりたい意思を固めました。特別救助隊員になるには、厳しい選抜試験と研修を乗り越えなければなりません。私は入庁3年目に選抜試験に合格し、研修を修了しました。その後、念願の特別救助隊員になり、父にそのことを知らせたときの喜びようは、今でも忘れられません。危険な災害現場から要救助者を救出するという勇猛果敢なイメージが先行する特別救助隊ですが、同時に特殊な資器材を扱う操作技術のプロフェッショナル集団でもあります。とくに「困難性が高い」災害現場に出場する特別救助隊は、災害現場で頼られる存在である反面、責任やプレッシャーは大きいですが、その使命感にやりがいを感じ日々訓練に励んでいます。



勇猛果敢であり救助資器材の  
操作にも長けたプロ集団

キャリアステップ

ポンプ隊員

はしご隊員

特別救助隊員





## 隊の仕事

### 救急隊

消防署 救急隊  
平成26年入庁 福岡県出身

自分の進路について真剣に考え始めた高校3年生の春、兄が外出先で急に具合が悪くなり、救急隊に助けもらったことが、消防官を目指すきっかけとなりました。また、海外の方々と関わることも興味があり、日本の首都東京なら海外の方々と触れ合う機会も多いと考え、東京消防庁を志望しました。入庁2年目に救急隊員に必要な救急技術を取得し、指揮隊の伝令として勤務するかたわら、予備の救急隊員として月に何度か救急活動に携わりました。その後、より高度な救命の処置を行うことができる国家資格の救急救命士を庁内で取得し、入庁6年目から正規の救急隊員として活動しています。「高度な知識と技術を身につけて人の助けになりたい」という思いが、救急救命士を目指した大きな理由でした。現場の状

況は様々で、資格取得後も救命に関する知識や技術向上の努力は欠かせません。同時にコミュニケーション能力を磨く必要性も日々感じています。その場の処置も搬送先病院の選定も、目の前で苦しむ方の状態を正しく把握することから始まります。しかし、本人も身体の状態が分からないケースも多く、どのように聞けば必要な情報が得られるのか悩んだこともありました。だからこそ素早く判断し、適切な処置で苦しみを和らげることができたときは、心から嬉しく思いました。救急隊員になるという入庁時の目標を叶えた今、次に目指すのは海外の方々との関わりを増やすことです。東京消防庁には「英語対応救急隊」という部隊が都心部の署を中心に配置されており、その一員になれるよう英語力の向上に努めています。

入庁時から目指してきた救急隊  
今、救急救命士として最前線に



キャリアステップ

ポンプ隊員

指揮隊員(伝令)

救急隊員



あらゆる場面を想定した訓練で磨いた  
スキルを活かし、消火・救助活動に臨む

キャリアステップ

ポンプ隊員

ポンプ機関員

はしご機関員

## 隊の仕事

### はしご隊

消防署 はしご隊  
平成20年入庁 茨城県出身

「私もあの人のようになりたい」。私は災害があれば迅速に出場し、大きな消防車両を運転操作する先輩の姿に憧れを抱き、魅力を感じたことがきっかけではしご機関員を志しました。まず、指揮隊車や救急車などの運転に必要な普通機関技術、ポンプ車の運転及びポンプ運用を行うためのポンプ機関技術を取得しました。その後、機関員の最上位であるはしご車などを運転操作できる特別操作機関技術を取得しました。機関員の使命は、災害現場まで安全・確実・迅速に車両を運行することです。とくにはしご車は、大型車両のため通行できない道路もあるので、管轄区域内の道路に精通すること、そして災害現場に到着したらどこに車両を停車させるかを即座に判断することが重要です。はしご車のてい体を伸ばす際は、近

くに電線がある場合に活動が困難となる他、マンホールの上や側溝の近くには停車することができません。そのため、はしご機関員は周辺の状況を素早く把握する能力を身につける必要があります。私のモットーは、信念を持って行動することです。機関員は常に自信を持ってハンドルを握ることが必要不可欠です。不安な気持ちでハンドルを握っていると事故につながり、隊全体の士気にも影響を与えてしまいます。当然、不安な気持ちをなくすには日々の訓練が何よりも重要です。日々の訓練の中で、様々な災害現場を想定した訓練を行うとともに過去の事例をはじめ、出場先の高層建物でイメージトレーニングをしながら災害現場で100%の力が発揮できるように取り組んでいます。







キャリアステップ

ポンプ隊員

査察係員

予防係員

首都東京の安全基盤を  
より強固にする

## 係の仕事

### 予防係

消防署 予防課予防係  
平成26年入庁 富山県出身

予防課が担う役割は「建物の防火上の安全性を高める」ことにあります。中には様々な業務があり、防火・防災管理者の選任や消防計画などの指導にあたる「防火管理係」、既存建物の検査をする「査察係」、新築建物の審査をする「予防係」、危険物施設の設置許可などを行う「危険物係」、火災原因などを調べる「調査担当」があります。私が担当する予防係は、管轄区域内で建築される建物に対して防火上の安全性に問題がないかを審査し、必要に応じて是正指導する役割を担っています。建物の設計段階から図面を審査し、工事中に中間検査を行い、竣工時には使用検査を実施します。業者の方と何度も打合せを行い、現地確認を重ね、建物の安全性向上に努めています。予防係として、より安全・安心な

建物にするため法令を遵守させることはもちろんのこと、法令上義務ではない指導基準を守ってもらうことも重要な任務です。しかし、法令及び基準を守るには費用がかかるため、いかに相手の方に納得していただき、火災予防の大切さを理解してもらうかが鍵となります。建物一つひとつの安全を確保することが安全・安心につながることを知ってもらうため、ポンプ隊として出場した火災現場での話などを交えて、災害発生時の危険性や予防の重要性を伝えています。予防業務に携わる中で確認しなければならない法令が多く、最初はどの法令を確認しなければならないのか分からず苦労したことがありました。しかし、手順や法令を細かく確認することで必要な法令が分かるようになり、やりがいを感じながら業務に励んでいます。



## 係の仕事

### 防災安全係

消防署 警防課防災安全係  
平成27年入庁 茨城県出身

災害発生時の被害を軽減するには、3つの取り組みが必要不可欠です。それが自分自身や家族で備える「自助」、地域の人がともに助け合う「共助」、そして行政による「公助」です。防災安全係の使命は、地域の方々の「自助」と「共助」に必要な防災意識を高めるとともに、防災知識の普及・啓発を行うことです。その中で、消防少年団の育成にも力を入れています。消防少年団は、防火防災や応急救護などについて学ぶとともに、地域への奉仕活動を行うことを通じて、社会に貢献する青少年を育成することを目的に活動しています。また、地域の防災訓練では幅広い年齢層の方々を対象に、消火器の使い方や家具の転倒防止などの防災に関する必要な知識を伝えています。幅広い年齢層の方々と接するうえで大切に

していることは、相手の年齢に合わせて難しい言葉は使わず、分かりやすい指導をすることです。例えば、子どもたちに対してはクイズやゲームを取り入れ、楽しみながら防災に興味をもってもらえるように工夫しています。また、一人暮らしの高齢者のお宅を訪問し、火災や地震などに関する住居の安全性を確認する、総合的な防火防災診断を行うことも重要な役割の一つです。住宅用火災警報器の設置・管理状況や大型家具の配置などを確認し、火災及び生活事故を未然に防ぐとともに、地震発生時の被害の軽減につなげています。こうした活動を通じて、地域住民の方々の防災意識を高め、万一の災害時にも的確に対応できる知識や技術を身につけていただくことに、大きなやりがいと誇りを感じながら活動しています。



キャリアステップ

ポンプ隊員

査察係員

防火管理係員

防災安全係員

「自助」と「共助」に必要な知識を伝え  
地域の防災力を高める





## 本庁の仕事

### 総合指令室

警防部 総合指令室  
平成25年入庁 東京都出身

以前所属していた消防署では、指揮隊員として災害現場に出場し、総合指令室に無線報告を行っていました。出場部隊からの無線報告を受けて見えない災害実態を把握し、効果的に運用する総合指令室に魅力を感じ、総合指令室の一員になりました。総合指令室は都内からの119番通報を受け付け、部隊に出場指令を行い、災害現場の活動状況を把握しながら必要な部隊を出場させるなど、現場で活動する部隊のサポートを行っています。総合指令室の中には、119番通報を受け出場指令を行う「災害受付」、災害現場に出場した部隊と無線などを活用して連携を図り、現場を支える「無線担当」、救急隊の活動を支援する「救急管制」の3つの業務があります。私はこれまで3つの業務全てを経験し、現在は救急管制を担当しています。

救急管制では、現場に駆けつけた救急隊だけの判断が困難な場合、救急隊の代わりに搬送先病院の確保のため病院の医師からの問い合わせに対応したり、総合指令室に常駐する医師に相談するなどの役割を担っています。そのため、一定の医学知識や医学用語を理解できなくてはなりません。電話や無線だけで現場の状況を把握するのは難しく、最初は戸惑いもありました。しかし、経験を積むうちに耳に入る「音」全てが手がかりになることを知り、より迅速な対応ができるようになりました。顔の見えない相手や出場隊からの通報・報告で災害実態を想像し、的確に対応すること、また、首都東京で発生するあらゆる災害に携われることにやりがいを感じながら災害対応の窓口として、都民と消防をつなぐ役割を果たしていきたいと思っています。

耳に入る「音」の全てを  
現場の状況把握に活かす



キャリアステップ

ポンプ隊員

指揮隊員(伝令)

警防部 総合指令室

情報技術の知識を活かし  
災害現場の活動を支える



キャリアステップ

防火管理係員

企画調整部 財務課

管理係員

管理係員

総務部 情報通信課

## 一般職員の 仕事

### 事務職員

総務部 情報通信課 平成16年入庁 宮崎県出身

消防機関にとって、無線は災害現場において必要不可欠なものです。東京消防庁には1万台を超える無線機があり、総合指令室と災害現場、隊員同士をつなぐ重要な資器材の一つです。現在、私は本庁舎の総務部情報通信課で、当庁にある無線機の免許の管理を行っています。無線機がなければ消防活動が行えなくなるため、その責任は重大です。無線機は電波法で機器ごとに使用目的、使用範囲などが細かく規定され、新しく無線機を導入す

る際には申請が必要です。この仕事で最も大切なのは期間内に滞りなく申請を行い、無線機を確実に使用できるようにすることです。万一、免許申請が間に合わなければ消防活動に大きな支障をきたしてしまうため、全ての無線機の状況などを把握し、期日までに手続きが終わるように緻密なスケジュールを作成しています。今後も創意工夫をしながら業務効率化を図り、消防官が災害現場で円滑に活動ができるように支援していきたいと思っています。

消防署 予防課防火管理係 平成28年入庁 埼玉県出身

私は、幼い頃から消防官である父の姿を見て、将来は人の役に立てる仕事がしたいと考えていました。進路を決める際に東京消防庁について調べていると、事務職員の募集があることを知り、災害現場で活動する消防官を支える仕事がしたいと思いました。そして、当庁が主催するイベントで、音楽隊の演奏やカラーガード隊の演技を見て人を笑顔にする仕事があることにも魅力を感じ入庁を決めました。入庁後は総務課管理係で職員

の福利厚生を担当し、その後は予防課防火管理係で防火管理者の選任や消防計画の作成などの指導を担当しています。さらに、都民と消防をつなぐ架け橋としてカラーガード隊に所属し当庁をPRするとともに、防火防災意識の啓発活動を行っています。様々な業務があり、自分の可能性を広げられることは東京消防庁の大きな魅力だと思います。今後はさらなるスキルアップを目指し、予防関連の資格取得に挑戦中です。



キャリアステップ

管理係員

防火管理係員

様々な仕事・経験を通じて  
自分の新たな可能性を発見





約2,000台の消防車両を  
整備することで消防活動に貢献する



キャリアステップ

整備部 整備工場

一般職員の仕事

自動車整備士

整備部 整備工場  
平成25年入庁 埼玉県出身

私は、自動車メーカーの整備士として8年間勤務した後、東京消防庁に入庁しました。入庁のきっかけは、東日本大震災の時に東京消防庁整備工場の整備士が緊急消防援助隊の後方支援部隊として大規模災害へ派遣され、整備活動などを通じて支援を行っているのを知ったことでした。そして、その整備活動などを通じて消防隊の活動を支えるということは、これまで培ってきた技術が人々の生命、身体及び財産を災害から守ることにつながると思い、大きな魅力を感じました。また、東京消防庁では約2,000台にも及ぶ消防車両の整備にあたることができ、一般の整備工場では扱えないはしご車などの特殊車両を整備することも魅力に感じました。入庁後もその想いは変わっていません。そんな私の最大の喜

びは、自分が整備した車両が本来の機能を最大限発揮しながら災害現場で活躍してくれることです。消防車両は日々進化を遂げるため、新たな車両が出るたびに整備マニュアルや解説書を読み、研究に取り組んでいます。現在は、希望していたはしご車などの特殊車両の整備を担当しています。はしご車の点検・整備には油圧ポンプなどの駆動装置や安全装置などが含まれており、幅広い知識とより高度な技術が求められるため、整備に必要な資格を取得し、修理などで人工した車両の点検・整備を行っています。今後はさらに技術を磨きながら万全な状態の消防車両を送り出し、災害現場で活動する消防隊を支えていきたいです。



女性消防官紹介

「毎日勤務」と「交替制勤務」、それぞれの勤務体制で業務に励む女性消防官をご紹介します。



毎日勤務

仕事と家庭の両立を叶える  
女性が働きやすい職場

消防署 予防課査察係 平成21年入庁 秋田県出身

中学3年生のとき、授業の一環として心肺蘇生法やAEDの使い方などを学ぶ普通救命講習を受講した際、中学生の私に優しく教えてくれた消防官に憧れを抱きました。消防官は災害に出場して人を助けるだけでなく、命を救う方法を教える仕事など様々な業務があることに魅力を感じ、志すようになりました。入庁後はポンプ隊、救急隊、予防課及びカラーガーズ隊などを経験し、妊娠・出産を経て現在は消防署の予防課査察係で立入検査などを行う査察業務を担当しています。仕事と子育てを両立するため、勤務時間の始めまたは終わりの中で1日2時間休業できる部分休業を利用しています。上司や同僚のサポートのおかげで限られた時間の中で日々の業務に取り組むことができ、子育てに理解がある、女性が働きやすい職場であることを実感しました。

TOPICS

女性が活躍できる場所がたくさんある

入庁後はポンプ隊や救急隊などの災害対応業務に就いていましたが、育児をきっかけに毎日勤務員として予防業務に携わりました。消防の仕事は災害対応以外にも様々な業務があるため、女性も安心して仕事を続けることができる職場です。

火災を未然に防ぐ“予防”の道を究める

現在担当している査察業務を通じて、火災を未然に防ぐことの大切さを改めて感じました。今後はさらに予防分野の知識を深めるため、上級予防技術という庁内の資格を取得し、より安全な街づくりに尽力したいと考えています。

交替制勤務

消防活動の司令塔である指揮隊  
“声”で部隊の活動を支える

消防署 指揮隊伝令 平成28年入庁 奈良県出身

学生の頃、アルバイト中にお客様が倒れてしまったことがありました。その時に駆けつけた救急隊の迅速な対応を間近で見たことをきっかけに、「人の命を助ける仕事」に憧れ、消防官を目指すようになりました。現在は、災害現場で消火や救助活動などの指揮統制を行う指揮隊の伝令として勤務をしています。伝令の役割は、災害現場の状況を的確に把握、収集した情報を整理し、無線などを活用して大隊長の補佐及び命令の伝達などを行う重要な存在です。そのため、指揮隊の活動が現場全体の動きに影響するという、その責務は重大ではありますが、同時に大きなやりがいを感じています。

TOPICS

消防官を目指すきっかけとなった救急隊への第一歩、救急技術を取得

入庁前から救急隊の業務に関心があり、指揮隊の伝令として勤務するかたわら、救急標準課程研修を修了し、救急技術を取得しました。研修では知識だけでなく、実践的な訓練を行い、救急隊員として必要不可欠な技術を身につけることができる、充実した研修でした。

助け合う、家族のようなチームで自分の成長を実感できる

指揮隊のメンバーは、活動以外でも私を気にかけて、いつも声をかけてくれます。その姿を見て、私も後輩や同僚に自然と声をかける習慣が身につきました。厳しい現場でもこのチームであれば一緒に乗り越えられると強さを感じ、そうした経験が自分の成長につながる事がこの仕事を続ける魅力の一つです。





## 部隊特集

# 消防救助機動部隊(ハイパーレスキュー)

特殊な技術・能力を有するスペシャリストが集まった、人命救助専門部隊



### MISSION 01

#### 世界中の大規模災害で活動する精強部隊

1995年に発生した阪神・淡路大震災の教訓から、通常の消防力では対応が困難な救助事象に迅速に対応するために創設されたのが、消防救助機動部隊です。東京都内に限らず、国内外の大規模・特異災害が発生した場合は現地に派遣され、活動します。私が所属する第二消防方面本部消防救助機動部隊は、高度な救助資器材を活用してあらゆる災害に対応する「機動特科隊」、重機や大型化学車などを有する「機動特科隊」、特殊救急車や遠距離大量送水装備などを活用し、救命対応や大規模火災に対応する「機動救急救援隊」から構成され、各部隊が災害現場で連携しながら人命救助を行っています。



### MISSION 02

#### 優れた技術の習得と高度な救助資器材に精通する

消防救助機動部隊は特殊な技術・能力を有する隊員と、高度な装備・資器材により構成されています。選び抜かれた隊員は、様々な災害を想定した訓練を日々行うことで、優れた技術の習得と能力向上を図っています。また、訓練では瓦礫の隙間にカメラを差し込み、逃げ遅れた人を探る画像探査機や、瓦礫や土砂などに埋まってしまった人の微小な音をとり、早期に発見する音響探査機など、特殊な資器材の取扱いの習熟を図り、迅速な救助活動ができるよう技術を身につけます。こうした日々の厳しい訓練を通して培った技能を発揮し、国内外で発生した大災害の人命救助に貢献しています。

### INTERVIEW

#### 東日本大震災の活動に感銘を受けて入隊を目指す

私が消防救助機動部隊を目指すようになったきっかけは、入隊1年目に発生した東日本大震災です。被災地で活動しているオレンジ色の救助服を身にまとった隊員の姿に感銘を受け、私も隊員として多くの方々に貢献したいと考えようになりました。その中でも真っ先に大規模災害の現場に派遣され、助けを求めている人の力になりたいという気持ちが強くなり、消防救助機動部隊を志しました。まず、庁内でも狭き門として知られる特別救助技術研修の選抜試験に合格し、特別救助隊員に任命されました。その後、業務の幅を広げたいと考えて機関員の資格と大型免許を取得し、特別救助機関員として勤務しました。そして一昨年に第二消防方面本部消防救助機動部隊に配属となり、日々訓練に励んでいます。訓練はこれまでの災害現場の事例を参考にしたものをはじめ、あらゆる災害現場を想定して行います。その中で何よりも大切なことは、本当の災害現場のつもりで緊張感をもって臨むことです。また、消防救助機動部隊は大規模災害に備えた部隊であるため、あらゆる状況を想定した災害現場で救助活動を行うための特殊な資器材があります。こうした資器材を使いこなし、速やかに活動することも消防救助機動部隊の使命です。そのため、訓練以外でも各種資器材などの取扱説明書を読み込むなど、専門知識を深めています。



消防方面本部 消防救助機動部隊  
平成22年入隊 神奈川県出身

## 消防署に新たに設置となった部隊

# デイタイム救急隊

仕事と家庭を両立できる、東京消防庁の新たな取り組み  
キャリアを活かし、働き方の最前線へ挑戦する



### MISSION

#### 女性がさらに活躍できる東京消防庁へ

近年、都内の救急出件件数は年々増えており、令和元年は過去最多の82万5,929件。特に日中の救急需要が高い傾向にある池袋消防署では、平日の日中に勤務時間を定めたデイタイム救急隊が令和元年5月に発隊しました。少数精鋭部隊で運用し、全員が救急資格を保有し、子育てや介護などを続けながら勤務しています。そのことから、女性隊員だけで出場することもあるため、救急隊員の負担を軽減するための電動ストレッチャーなどの設備が車両に装備された電気救急車(EV車)が導入され、体格の大きい傷病者もスムーズに搬送できるようになりました。日中の救急出件件数が増加するなか、この電気救急車(EV車)により効率性を高め、現場到着から病院搬送までの時間短縮を図っています。

### INTERVIEW

#### 仕事と子育てを両立し、子どもを育てあげる

学生時代に取得した救急救命士の資格を活かすため、消防官を志しました。入隊後、予防課員や救急隊員としてキャリアを積んだ後に、妊娠及び出産を機に現場を離れました。復職後は毎日勤務として働いていましたが、救急救命士の資格を活かして働きたいという想いから、デイタイム救急隊を志願しました。現在は救急救命士として災害出場するほか、応急救護の普及活動などを行っています。隊員同士、同世代の子どもを育てていることから、仕事だけでなくプライベートの相談もしやすく、理解し合える存在です。今後は交替制勤務の救急隊として従事することを目標とし、今度は自分が子育てや介護などと仕事を両立する職員をサポートしていきたいです。

消防署 デイタイム救急隊  
平成20年入隊 栃木県出身



# ファーストエイドチーム

全国の消防機関で初めてEVドライブを導入  
いち早く助けを求める人のもとへ



### MISSION

#### 狭い道を駆け抜け、1秒でも早く到着する

東京都内には、住宅が密集しているため狭い道路などが多く存在し、ポンプ車や救急車が災害現場まで行くことができず、到着に時間を要してしまう地域は少なくありません。災害対応で最も重要なことは迅速な「初期対応」であり、そのような課題を解決するため、令和2年1月に千住消防署においてファーストエイドチームが発隊しました。全国の消防機関で初導入となる小型で機動性が高いEVドライブをベースに、災害現場の初期対応に必要な消火用ホースやAEDなどの資器材が積載されています。小型車両ならではの機動力を活かして災害現場に1秒でも早く到着し、火災初期の情報収集や消火活動、救急現場では傷病者の観察や救命処置を行うことで救命の効果を高めるとともに、後着の部隊が活動しやすい状況をつくり出すことができます。

### INTERVIEW

#### 新規部隊の隊員になることへの誇り

私はファーストエイドチームが発隊する前の準備段階から携わっており、新規部隊の隊員として誇りとやりがいを感じながら活動しています。EVドライブは小回りが利き、道幅に左右されることなく災害現場まで最短距離で行くことができるため、一刻を争う災害に対して早急に着手することが可能になります。より早く災害対応を行うためには、出場するまでの時間を短縮することが迅速な人命救助につながるから、いかに早く出場するにはどうしたら良いか部隊立ち上げのメンバーで話し合い、訓練を重ねています。また、出場した災害での経験や意見を反映していき、ファーストエイドチームの将来の発展に貢献したいと考えています。

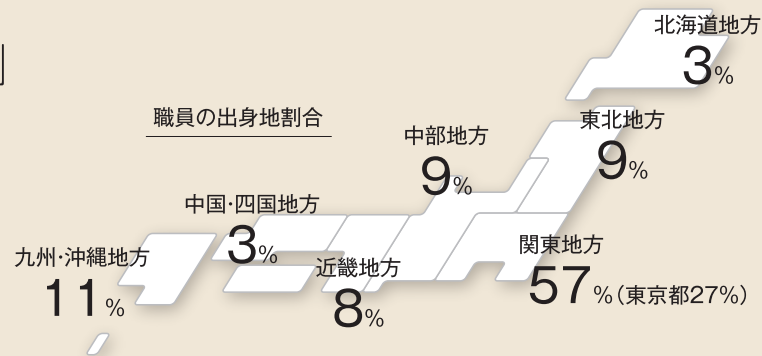
消防署 ファーストエイドチーム  
平成23年入隊 東京都出身





# TOPIC 全国から集まった仲間たち

「より多くの人々に貢献したい」という想いを抱き、東京消防庁には全国から仲間が集っています



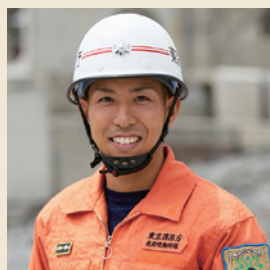
From 秋田県



「日本の首都である東京なら様々な経験ができ、自分の視野が広がる」と思い、親元を離れ高校卒業後すぐに入庁しました。初対面の人と集団生活することに不安はありましたが、ともに訓練や勉強をしているうちに出身地に関係なく打ち解け、かけがえのない仲間ができました。消防学校を卒業し消防署に配属となった今も、仕事だけでなくプライベートの相談もできる大切な仲間です。

消防署 予防課査察係  
平成21年入庁

From 神奈川県



日本一の人口を誇る東京で、多種多様な災害から人々の命を守りたいと思い、東京消防庁に入庁を決意しました。入庁前は消防学校の訓練に耐えられるか、寮での集団生活ができるかなど、不安はありましたが、寝食をともにする仲間と支え合い、励まし合うことで抱いていた不安は解消されました。全国から同じ志を持った仲間が集まり、お互いを高め合える関係が築けることは東京消防庁の魅力の一つです。

消防方面本部 消防救助機動部隊  
平成22年入庁

From 山梨県



私が消防官を目指したきっかけは、高校卒業の直後に発生した東日本大震災で、消防官が懸命に災害対応にあたる姿をテレビなどで見たことでした。日本一の組織力を備えた東京消防庁で働きたいと考えており、当庁を目指すことに迷いはありませんでした。東京消防庁には、高度な知識・技術などの専門性を備えた部署が幅広くあり、自分の新たな可能性を見つける上でも最適な組織だと思います。

消防署 指揮隊通信担当  
平成27年入庁

From 富山県



東京消防庁には全国各地から職員が集まっており、様々な経験を持った仲間から刺激を受け、自分の成長につなげられることは大きな魅力だと感じています。私が入庁したとき、消防学校のクラスには地方出身者が半数を占めており、半年間の学校生活はあらゆる方言が飛び交うにぎやかなものでした。地方独自の習慣を知るのも楽しく、こんな経験ができるのも東京消防庁ならではの魅力です。

消防署 予防課予防係  
平成26年入庁

From 奈良県



入庁前は「何がしたいのか」が明確でなくても、東京消防庁には様々な仕事があり、キャリアアップのための研修が充実しています。将来のキャリアを考える際に、たくさんの選択肢があるので、実際に消防署で働いてからでも目指す仕事が見つかるはず。また、全国から集まった仲間たちが大勢なので、お互いを刺激し合いながら成長することができます。

消防署 指揮隊伝令  
平成28年入庁

From 福岡県



「海外の人とも交流できる東京消防庁を目指したい」と話したとき、母はすぐ賛成してくれたのですが、父からは反対されました。おそらく、地元での就職を望んでいたのだと思います。しかし、最後は「自分で決めた道なら辛抱強く頑張れ」と、父も励ましの言葉で送り出してくれました。東京消防庁は福利厚生がしっかりしているため休暇も取得しやすく、年に数回は地元へ帰省しリフレッシュしています。

消防署 救急隊  
平成26年入庁

## SCHOOL GUIDE

# 消防学校って どんなところ？

消防官として採用されると、消防学校学生として消防学校に入校し、寮での生活を通じて消防官として求められる規律や使命感、そして知識、技術などを身につけるための初任教育を受けます。全ての消防官のスタートとなる消防学校は、どのような場所なのでしょう。

※採用時の研修を「初任教育」、初任教育を受ける職員を「消防学校学生」といいます。



**1 訓練棟**  
高層ビル火災や地下火災など様々なケースの訓練想定ができる実質的訓練施設です。



**2 模擬消火訓練施設**  
火災や煙を発生させ、実際の火災現場と同じような状況下で訓練を行います。



**3 教室**  
業務を行う上で必要な法令などを学びます。教室の設備などは一般的な学校と同等のイメージです。



**4 救急実習室**  
救急車や救急資器材を実際に見て、触れて学びます。



**5 CAI実習室**  
パソコンを活用して、映像化された教材の視聴や当庁の業務処理要領などを学ぶことができます。(CAI=コンピュータ支援教育)



**6 建築設備実習室**  
建築部材や模型を見ながら建物の構造などについての知識を深めます。



**7 消火設備実習室**  
建築物に設置されている屋内消火栓やスプリンクラーなどの模擬設備を活用して、使用方法や仕組みを学びます。



**8 体育館**  
体育や剣道などの授業を行います。課業終了後に自主トレーニングをすることもできます。



**9 水難救助訓練施設**  
最深4.25メートルまで設定可能な可動床式屋内プールで、水難救助や訓練や体カトレーニングを行います。



**10 売店**  
学校生活に欠かせない文具や書籍から、日用品やお菓子、さらには東京消防庁オリジナルグッズまで品揃え豊富です。



**11 食堂**  
一度に約600名が利用可能。昼食のメニューは2種類の日替わりから選べ、訓練の合間の楽しみの一つになっています。





# 消防学校での一日

**6:00** 起床、点呼

布団を畳んだらすぐに校庭に向かい、クラス全員そろって点呼を受けます。

**清掃、朝食、課業準備**

敷地内及び消防学校周囲の清掃。空き時間に体力トレーニングをする学生もいます。食事は管理栄養士が考えたメニューです。



**8:30** 午前課業開始

消防官としての心構え、消防官に必要な基礎知識、業務を行うための専門知識など、幅広く学びます。消火、救急、救助に関する様々な訓練や機器取扱い訓練を通じて、実践的な技術を身につけます。

- ・座学(関係法令など)
- ・座学(消防業務など)
- ・実科



**12:00** 昼食、休憩



**13:00** 午後課業開始



**17:15** 終業、自由時間

自主訓練・体力トレーニング・夕食、入浴・洗濯、アイロンがけ・自習 など



**22:00** 点呼、就寝



## 初任教育の主な教科目

消防業務の基礎を修得

**座学(関係法令など)**

法学基礎・消防法規、組織制度、倫理・服務 など

**座学(消防業務など)**

消防活動知識、防災、消防機械・ポンプ、危険物、建築・消防用設備 など

**実科**

消火・救急・救助活動訓練、礼式、体育、実務研修 など

## 初任教育の流れ

1年間

**初任基礎教育課程 6か月間**

消防学校に入校し、座学や実科の課業により、消防官としての基礎を身につけます。

**初任実務教育課程 6か月間**

消防署に配属され、災害現場での活動や事務処理などの実務を通じて教育を受けます。

**初任総合教育課程 4日間**

初任教育の仕上げとして、職員としての自覚やキャリア形成に関する教育など総合的な教育を受けます。

※時期により期間が異なる場合があります。



将来に活かせる経験を積むため  
クラスのまとめ役を担っています

消防学校学生 令和2年4月入庁 滋賀県出身

地元で消防官になった友人の話や、合格者向けの懇談会に参加したことで、不安を感じることなく消防学校へ入校することができました。消防学校では40～50名を1クラスとし、その中で5～7名が小隊となって実科訓練などを行っています。クラスには全体をまとめる場長と、それをサポートする副場長がいて、私は立候補により副場長を任せてもらいました。実科訓練も座学も初めて知ることばかりで、自分のことではいまいち、副場長としての役割を果たすことができるか不安でしたが、将来、小隊長や中隊長を目指すうえで貴重な経験になると考え、決断しました。これから社会人として、消防官として現状に満足することなく、高みを目指していきたいです。



分からないことは仲間と教え合い  
一緒に成長を目指しています

消防学校学生 令和2年4月入庁 埼玉県出身

消防学校に入校する前、不安に感じていたのは初めて経験する消防学校での「集団生活」でしたが、今ではそれも「安心材料」の一つになっています。消防学校では次々と新しいことを教わるため、夜の自由時間に復習しても覚えるまでとても時間がかかります。私は当初、ローブ結索が苦手で、習得に苦労していました。そんなとき、同じ寮室のローブ結索が得意な同期生が手取り足取り教えてくれたことで、苦手を克服することができました。今では私も苦手なことや分からないことを教えるようになり、同じ寮室の仲間と協力しながら日々励んでいます。休日は買い物や、寮室の共有スペースで皆とお喋りするのが、大切なリラックスタイムになっています。



教官としてのモットーは  
「学生のやる気をつなぐ」ことです

消防学校教官 平成13年入庁 東京都出身

私は救急隊長などを経て、3年前から消防学校の教官を務めています。これまでは救急に関する研修の担当をしていましたが、今回初めて初任教育の担当者として協力して教育にあたっているのが、教育レベルの高さには自信を持っています。教官として常に心がけていることは「学生のやる気をつなぐ」ことです。学生は消防官を目指す強い意志を持って入校していますが、その気持ちを保ち続けるのは簡単ではありません。訓練の失敗で落ち込んだり、努力が報われないと悩んだりして、パフォーマンスが下がる学生もいます。私は救急隊として養ってきた「人を観る」力を活かし、学生一人ひとりをよく観察し、ときに励ましときに叱り、一歩ずつ成長していく姿を見守るとともに、強い使命感を持った消防官の育成に努めています。

# 消防学校Q&A

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、寮生活についてはQ&A記載の内容が制限される場合があります。

**Q** 全寮制ですが  
外出や外泊はできますか？

**A** 基本的には金曜日・祝前日の夜から外出・外泊が可能です。同期生と出かけたり、実家に戻る学生もいます。外出・外泊する際は事前の届出が必要になります。

**Q** 課業後や休日はどんなことをして  
過ごしているのですか？

**A** 課業後は、寮則に基づく時間内で自由に過ごします。アイロンがけ、靴磨きなど課業に向けた準備、自主訓練や体力トレーニングなどを行うこともできます。また、休日には買い物や食事に出かけるなどして過ごしています。

**Q** 消防学校は厳しいと聞きますが  
具体的にどのような環境ですか？

**A** 消防官として必要な素養を育てる最初の場です。時間や規則を守って行動することや、正服などの着こなし、髪型などについても教育を受けます。消防学校は職業訓練の場であり、入校中も給与が支給されているので訓練や座学も全力で取り組む必要があります。

**Q** 寮室や寮生活は  
どのような雰囲気ですか？

**A** 寮室は、間仕切りで7つに区画されており、個人のスペースも確保しています。課業後の寮室では、座学や訓練の予習・復習はもちろん、同期の仲間とコミュニケーションを図りながら楽しく過ごしています。

**Q** 入庁前に取得すべき資格や  
やっておくべきことはありますか？

**A** 取得しなければならない資格はありませんが、自動車運転免許や危険物取扱者などの資格は入庁後の業務にも活かすことができます。また、入庁後の訓練に耐えられる身体づくりをしておくことも必要です。

**Q** 新型コロナウイルス感染症へは  
どのような対策をしていますか？

**A** マスクの着用、手洗いうがいの徹底に加え、三密を避けるために身体的距離の確保や複数教室を活用したりリモート授業の実施、換気の徹底、食事や入浴等でも時間指定をするなど、万全の対策を行っています。



# 【交替制勤務】

ポンプ隊や救急隊、特別救助隊などの災害対応にあたる職員



## ON



### 01

大交替・点検 / 大交替で非番隊から業務を引き継ぎ、車両や資器材に不具合がないかをしっかり点検します。通信担当にとって重要な無線機は、とくに入念にチェックします。

8:30  
大交替  
点検

10:00  
事務処理

12:00  
昼食

13:00  
小隊立入検査  
水利調査などの出向

15:00  
訓練

17:15  
夕食

18:00  
日夕点検

18:30  
ミーティング  
事務処理

23:20  
仮眠

6:00  
起床

7:15  
朝食

8:30  
大交替

8:40  
業務終了



消防署  
指揮隊通信担当  
平成27年入庁  
山梨県出身

## OFF



### 01

家事 / 妻は土・日曜日が休みのため、平日の週休日は私が朝食担当で妻を送り出しています。その後、朝食の片付けや掃除、洗濯などの家事を行います。

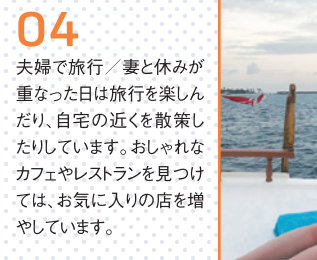
### 02

ボルダリング / トレーニングの一環として、ボルダリングに行くこともあります。同じ消防署の仲間に誘われて始めましたが、上手く登れるよう練習を重ねています。



### 03

部会活動 / ラグビー部会に所属しており、非番・週休日に合わせて練習に参加しています。全国消防親善ラグビー大会ではレギュラーとして出場し、10連覇に貢献しました。



### 04

夫婦で旅行 / 妻と休みが重なった日は旅行を楽しんだり、自宅の近くを散策したりしています。おしゃれなカフェやレストランを見つけては、お気に入りの店を増やしています。

### 02

事務処理 / 総務、警防、予防などの担当業務を行います。警防課消防係として災害出場に関する報告書の作成や、消防活動に支障をきたすおそれのある行為の届出対応を行います。



### 03

訓練 / 毎当番、いついかなる時も活動できるよう訓練に励みます。指揮隊通信担当として、災害現場の情報を集約し、総合指令室に報告する無線交信の訓練を行っています。

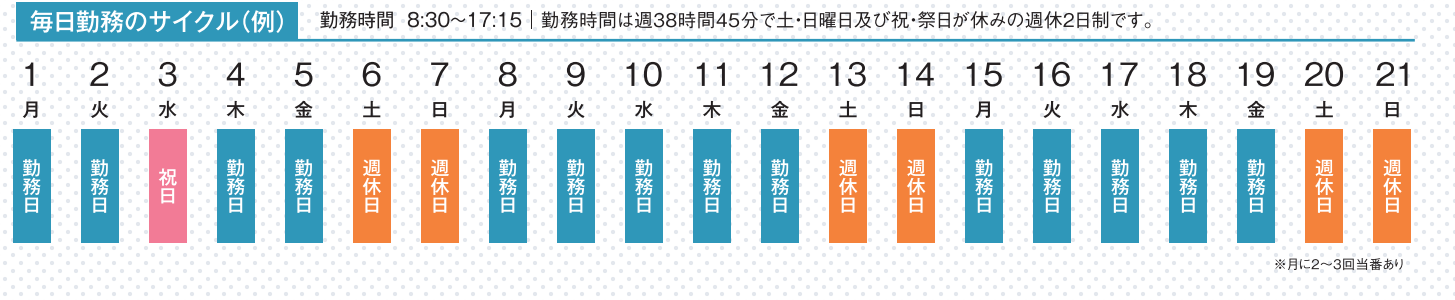
### 04

体力錬成 / 現場活動を支える体力の維持・強化には常に気を配っています。体力と隊員間のコミュニケーションの向上を図り、トレーニングをしています。



# 【毎日勤務】 (予防業務)

主に予防業務などを担当する職員や本庁で勤務する職員



## ON



### 01

来署者対応 / 火の使用などが禁止されている場所で、火を使用する場合の相談や申請された書類を法令などの基準に照らし合わせながら、確認していきます。

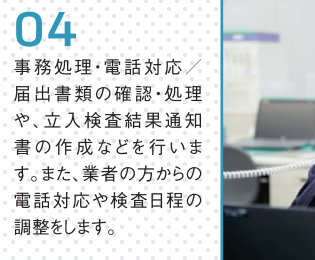
### 02

打合せ / 規模の大きい建物の場合、査察係員総出で数日かけて立入検査を行うこともあります。当日の動きや役割分担などを事前に決め、立入検査の準備を行います。



### 03

立入検査 / 管轄区域内の建物や店舗に立ち入り、消防関係法令に基づき、消防用設備などの状況を検査し、重大な法令違反には警告や命令などの違反処理を行います。



### 04

事務処理・電話対応 / 届出書類の確認・処理や、立入検査結果通知書の作成などを行います。また、業者の方からの電話対応や検査日程の調整をします。

## OFF



### 01

自宅の庭でBBQ / 夫の趣味がアウトドアのため、自宅の庭でBBQをしてお昼ご飯を食べながら楽しんでいます。同年代の子どもがいる近所のご家族を招くこともあります。

### 02

公園でキャッチボール / 近所の公園で子どもたちと遊ぶのも、週休日の過ごし方の一つです。いつの間にか夫も私も、子どもたちと一緒に走り回って良い運動になっています。



### 03

ドライブ・買い物 / 年次有給休暇や夏季休暇を利用して、家族でドライブがてら買い物や旅行に出かけます。昨年は森の中のコテージを借りて、自然を満喫してきました。

### 04

夫婦のだんらん / 子どもたちが寝静まった後、夫婦でコーヒーを飲みながら過ごしています。夫も当庁の職員なので、子どもの話はもちろんのこと仕事の話をすることもあります。



8:30  
業務開始

9:30  
来署者対応

11:00  
打合せ

12:00  
昼食

13:00  
立入検査

16:00  
事務処理  
電話対応

17:15  
業務終了



消防署  
予防課査察係  
平成21年入庁  
秋田県出身



# キャリアモデル

平均勤続状況 (令和元年度中)

平成21年度から平成23年度までに採用された職員の継続勤務割合  
男女ともに育児や介護といった事情の有無に関わらず、職員が勤務を継続できる環境が整っています。



## 自身の経験や知識を活かし、いかなる状況でも適正な判断ができる消防官を育成する

入庁後は、ポンプ隊やはしご隊などの部隊で様々な災害現場を経験しました。中でも、東日本大震災で緊急消防援助隊として現地での活動に従事した際、過酷な状況でありながら現地の方々が私たちに感謝の言葉をくださいました。この時の経験から、首都東京だけでなく、日本全国を守るという意識が強くなりました。また、部下職員を育成し、様々な災害に対応できる精強な部隊を作り上げていくことが自身の使命だと感じました。その後は、はしご隊長として活動するかたわら、消防学校で講師として自身の知識や経験を活かした指導を研修生に行いました。現在は、ポンプ隊の中隊長として指揮者の命令を受け、各隊を指揮し、消防活動にあたります。また、ポンプ隊が災害現場に最先到着した場合は、大隊長に代わり全体の統括指揮をすることもあります。隊員との信頼関係を構築するため、困難な状況を想定した訓練を行い、どのような行動をとるべきか意見を出し合う機会を設けています。今後は、隊員の育成とともに自身の指揮能力を磨き、都民の方々の命を守るという使命を果たしていきたいと考えています。



## ポンプ隊中隊長 キャリアモデル

消防署 ポンプ隊中隊長  
平成16年入庁 大阪府出身

### これまでのキャリア

- H16年 | ポンプ隊員(消防士)
- H19年 | ポンプ機関員(消防副士長)
- H23年 | はしご機関員(消防士長)
- H27年 | はしご隊長(消防司令補)
- H30年 | ポンプ隊 中隊長

### 修了した研修など

- ポンプ機関技術研修
- 特別操作機関技術研修
- 特別消火中隊長特別研修
- 緊急自動車運転技能向上委託研修
- 機関員指導者養成特別研修
- 救急標準課程研修
- 警防技術I・II・Ⅲ級

## 予防課査察係主任 キャリアモデル

消防署 予防課査察係 主任  
平成22年入庁 埼玉県出身

### これまでのキャリア

- H22年 | ポンプ隊員(消防士)
- H23年 | 消防署 予防課査察係(消防副士長)
- H26年 | 本庁 予防部予防課(大学等委託研修)
- H28年 | 消防署 予防課予防係(消防士長)
- H29年 | 本庁 予防部査察課
- R元年 | 消防署 予防課査察係(消防司令補)

### 修了した研修など

- 上級予防技術研修
- 予防実務特別研修
- 救急標準課程研修
- 英会話技能者研修
- 大学等委託研修(東京理科大学大学院)

## 火災を未然に防ぐため、研修や大学院で自分を高める

入庁後にポンプ隊員として活動しながら予防業務にも携わるうちに、「火災を未然に防ぐ大切さ」を知ったことが、今後の道を決めるきっかけとなりました。入庁2年目に消防署の予防課査察係へ異動し、管轄区域内の建物やテナントに立ち入り、火災予防上の法令違反や危険箇所を関係者に対して指摘、指導し、是正を促す査察業務を担当しました。査察業務を続ける中で「火災予防」の基本を理解し、関係者への指導に活かしたいと思い始めたとき、大学などで消防業務に必要な専門的知識・技能を修得することができる研修制度(大学等委託研修)があることを知りました。庁内の選考及び大学院の入試を経て、火災の原理や建築の法令に関する研究に専念することができ、大変貴重な経験となりました。また、同じ研究室に消防設備メーカーの方がいて、指導を受ける側の話を聞いたことはさらに視野が広がり、予防についてより深く知ることができました。現在は消防署の予防課査察係の主任となり、部下の育成にも力を入れ、地域の建物の安全性をより高める査察業務に取り組んでいます。



# 研修紹介

## 庁内研修で学ぶ

高度な専門性を要する業務に必要な知識と技術の習得を目的とした研修です。

- |                            |   |            |
|----------------------------|---|------------|
| 特別救助技術研修                   | ▶ | 特別救助隊員     |
| 水難救助技術研修                   | ▶ | 水難救助隊員     |
| 化学災害技術研修                   | ▶ | 化学機動中隊長    |
| ポンプ機関技術研修                  | ▶ | ポンプ機関員     |
| 特別操作機関技術研修                 | ▶ | 特別操作機関員    |
| 機動二輪活動技術研修                 | ▶ | 消防活動二輪車先行員 |
| 予防技術研修                     | ▶ | 査察技術員      |
| 救急標準課程研修                   | ▶ | 救急隊員       |
| 救急救命士養成課程研修                | ▶ | 救急救命士      |
| 救急救命士処置拡大(低血糖・ショック)特別研修 など |   |            |



水難救助技術研修



機動二輪活動技術研修



予防技術研修



救急救命士養成課程研修

## 外部研修機関で学ぶ

外部教育機関への委託研修で業務に必要な専門知識と技術を身につけます。

- |                 |   |                     |
|-----------------|---|---------------------|
| 大型自動車免許取得委託研修   | ▶ | 大型自動車運転免許の取得        |
| 緊急自動車運転技能向上委託研修 | ▶ | 機関員の安全運転に係る知識・技術の習得 |
| 海技従事者養成委託研修     | ▶ | 航海士・機関士の養成          |
| 航空従事者養成委託研修     | ▶ | 回転翼航空機操縦士・航空整備士の養成  |
| 支援デブリーファ養成委託研修  | ▶ | 惨事ストレスケア対応職員の養成 など  |

## 大学院や研究機関で学ぶ

消防行政に活かすことを目的に大学院研究室などで先端的な学術知識を修得します。

- 東京都立大学大学院 都市環境科学研究科 政策研究大学院大学 政策研究科 公共政策プログラム
- 筑波大学大学院 システム情報工学研究群 人間総合科学研究科
- 東京理科大学大学院 理工学研究科
- 電気通信大学大学院 情報理工学研究科
- 横浜国立大学大学院 環境情報学府
- 国立研究開発法人 防災科学技術研究所
- 株式会社三菱総合研究所
- 総務省 消防庁 消防大学校 消防研究センター
- 大学医学部付属病院 など



## 給与・勤務制度・福利厚生など

### 給与

※この初任給は、令和3年1月1日現在の給料月額に地域手当を加えたものです。なお、採用前に給与改定があった場合はその定めるところによります。  
 ※上記の他、期末・勤励手当、扶養手当、住居手当、通勤手当などの制度があります。※大学院修了者及び採用前に職歴を有する人は、一定の基準により加算される場合があります。

区分	専門系採用者	I類採用者	II類採用者	III類採用者
給与(採用時)	約261,300円	約253,300円	約232,900円	約213,900円

### 子育てのための勤務制度

職員が仕事と子育ての両立ができるよう、各種制度を整えています。  
 下記以外にも、出産支援休暇、育児時間、育児参加休暇、子どもの看護休暇などがあります。

妊娠出産休暇	妊娠中や出産を通じて16週間以内の休暇があります。	部分休業	養育のため、子どもが小学校に就学するまで勤務時間の始めまたは終わりにおいて、1日につき2時間以内で休業することができます。
育児休業	養育のため、子どもが3歳になるまで休業することができます。	育児短時間勤務	仕事と養育の両立のため、子どもが小学校に就学するまで1週間あたりの勤務時間を短くすることができます。

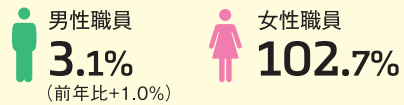
#### 出産支援休暇・育児参加休暇取得率 (令和元年度中)

男性職員が配偶者の出産にあたり取得できる休暇です。年度ごとに出産支援休暇を85%以上、育児参加休暇を60%以上にすることを目標としています。育児参加休暇の取得率については、昨年度に続き目標を達成しました。今年度も引き続き両休暇の取得促進に取り組んでいます。



#### 男女別育児休業取得率 (令和元年度中)

女性職員は育児休業取得対象者全員が取得し、男性職員の取得率についても年々上昇しています。取得者は「当該年度以前に取得可能となった者も含め、新たに取得した者」とするため、取得率が100%を超えることがあります。



### 休日・休暇

毎日勤務の場合は、勤務時間は8時30分から17時15分まで、土日が休みです。交替制勤務の場合は、勤務時間は8時30分から翌日8時40分まで、原則として4週間に8日の休みがあります。また、1年間に20日の年次有給休暇が付与され、この他にも、慶弔休暇、夏季休暇、ボランティア休暇、長期勤続休暇などの休暇制度があります。

### 福利厚生施設など

東京都の職員として、東京都職員共済組合の施設の他、湯河原・那須にある保養施設の利用が可能です。また、結婚、疾病、家族の就学などに関する給付事業や保養施設の利用助成など、充実した福利厚生制度となっています。

### 相談窓口・ストレスケア

職員が抱える、職場内外の悩みに対しては、複数の相談窓口を用意し、悩みを早い段階で解消するためのバックアップ体制を整えています。また、悲惨な災害現場において受けた精神的ショックなどに対する惨事ストレス対策も積極的にを行っています。

### 職員待機宿舎

震災など大災害が発生した場合の初動態勢に必要な人員を確保するための単身待機宿舎は都内約80カ所にあり、消防学校修了後は原則として入居することが義務付けられています。その他、家族を有する職員が入居する家族待機宿舎は都内約170カ所に整備されています。



## 全職員・家族を対象としたイベント

毎年、4つの大きなイベントを開催しています。家族も含めて、全ての参加者が楽しめるように運営されています。



#### 剣道大会

同じ消防署の職員などで構成したチームで優勝を目指す伝統ある大会です。稽古を通じ職員間の絆が深まります。近年では段位を問わない若手限定部門も創設されています。



#### 職員・家族総合文化展

文化部会が中心となって3日間にわたり開催されています。職員だけでなく家族も作品を出品することができ、様々な分野の教養が深まります。



#### 総合中央競技大会

体育部会が中心となって様々な競技大会が開催されます。駒沢オリンピック公園や東京辰巳国際水泳場など、本格的な競技場でスポーツ競技を一杯楽しめる大会です。



#### 駅伝・ロードレース大会

最も多くの職員が参加するスポーツイベントです。同じ消防署の職員同士で一本の襷をつなぐ駅伝や親子で参加することができるロードレースなどを行っています。

### クラブ活動

東京消防庁には、クラブ活動を行う様々な部会があります。平日・休日を問わず、年間を通じて、多くの職員が積極的に参加し、同じ趣味の仲間と充実した日々を過ごしています。



部会一覧	
体育部会(24部会)	文化部会(17部会)
野球	弓道
陸上競技	サッカー
テニス	ボウリング
卓球	居合道
山岳	剣道
バレーボール	ラグビー
柔道	トライアスロン
バスケットボール	綱引
水泳	自転車
バドミントン	ライフセービング
スキー	バイク
ゴルフ	サーフィン
	書道
	版画
	東京救助救急研究会
	化学災害技術研究
	都市防災研究会
	東京予防技術研究
	惨事ストレス研究
	ボランティア
	釣魚
	沖繩三線・エイサー
	軽音楽
	同好会(5同好会)
	ストリートダンス
	ドローン
	ハンドボール
	杖道
	熊本の歴史と文化研究会

部会賞歴一覧
陸上競技部会 第30回全国消防本部対抗駅伝競争大会 優勝
バスケットボール部会 第42回全国消防親善バスケットボール大会 優勝
サッカー部会 第49回全国自治体職員サッカー選手権 準優勝
剣道部会 第7回全国消防職員剣道大会 団体戦準優勝
ラグビー部会 第45回全国消防親善ラグビー大阪大会 優勝(10連覇)
サーフィン部会 第9回全国ファイヤーマンサーフィンコンテスト 第3位
将棋部会 第116回職域団体対抗将棋大会 E級慰安戦 優勝
※主なものを抜粋しています。 ※この他にも多数の体育部会・文化部会の各部会が実績を挙げています。

## 人事制度

消防官としての基礎的な知識・技術を身につけた後、実際の業務を通じて、自らの適性や希望に応じたキャリアを築き上げていくことができます。

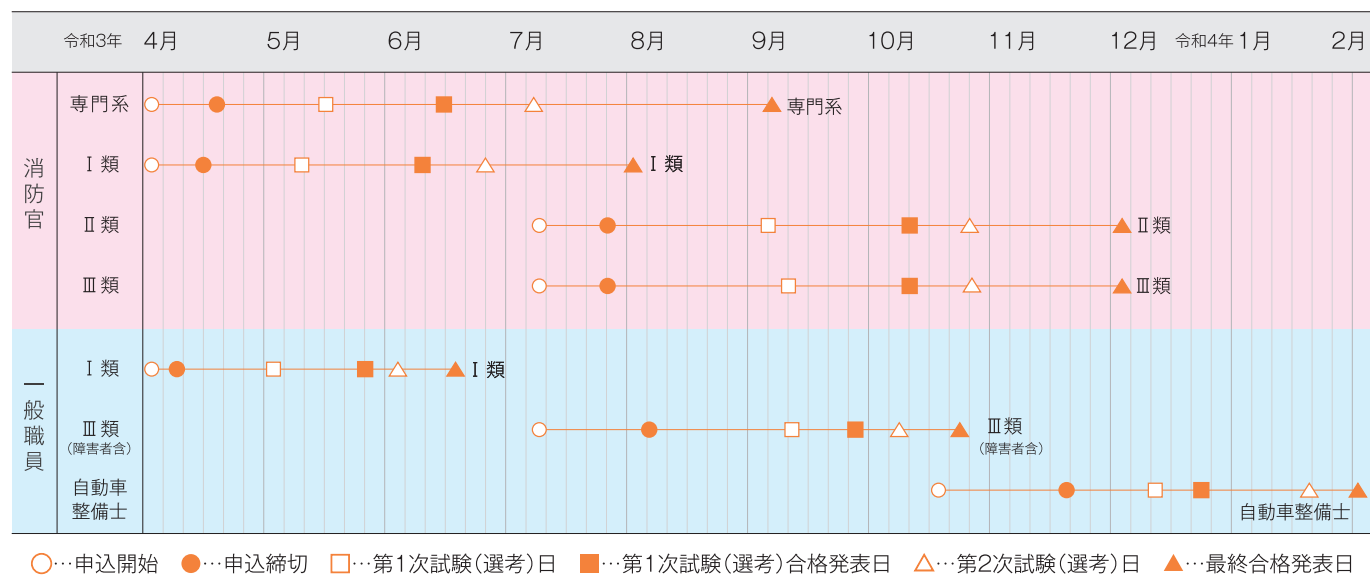
職員の階級と職務										
階級等	消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	消防監	消防正監	消防司監	消防総監
職務	隊員		小隊長等	中隊長等	大隊長等	副署長等 課長	署長等	消防学校長 技術安全所長 方面本部長	次長 理事 部長	消防総監
職級 (事務職員含む)	係員		副主任	主任	係長					



**募集要項** ※事務職員の募集要項については、採用案内または採用ホームページをご確認ください。

**令和3年度の採用スケジュール(予定)**

※令和3年度の採用スケジュールは予定です(詳細は令和3年2月下旬頃に公表します)。



**受験資格など(予定)**

※受験資格は予定です(詳細は令和3年2月下旬頃に公表します)。  
※専門系には、法律、建築、電気、電子・通信、化学、物理、土木、機械の専門区分があります。

採用区分	受験資格
専門系	1992年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法に基づく大学(短期大学を除く)を卒業している人(2022年3月卒業見込みの人を含む)又は同等の資格を有する人
I類	1992年4月2日から2000年4月1日までに生まれた人 若しくは2000年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法に基づく大学(短期大学を除く)を卒業している人(2022年3月卒業見込みの人を含む)又は同等の資格を有する人
II類	1992年4月2日から2002年4月1日までに生まれた人
III類	2000年4月2日から2004年4月1日までに生まれた人

**試験方法(令和2年度)**

※本表は令和2年度の実施内容であり、令和3年度の試験内容は令和3年2月下旬頃に公表します。  
※専門系については、下記に加え第1次選考で、各専門区分の基礎知識について記述式の筆記試験を行います。  
また、第2次選考では個人面接に加え、集団討論を行います。詳細は、採用選考案内をご確認ください。

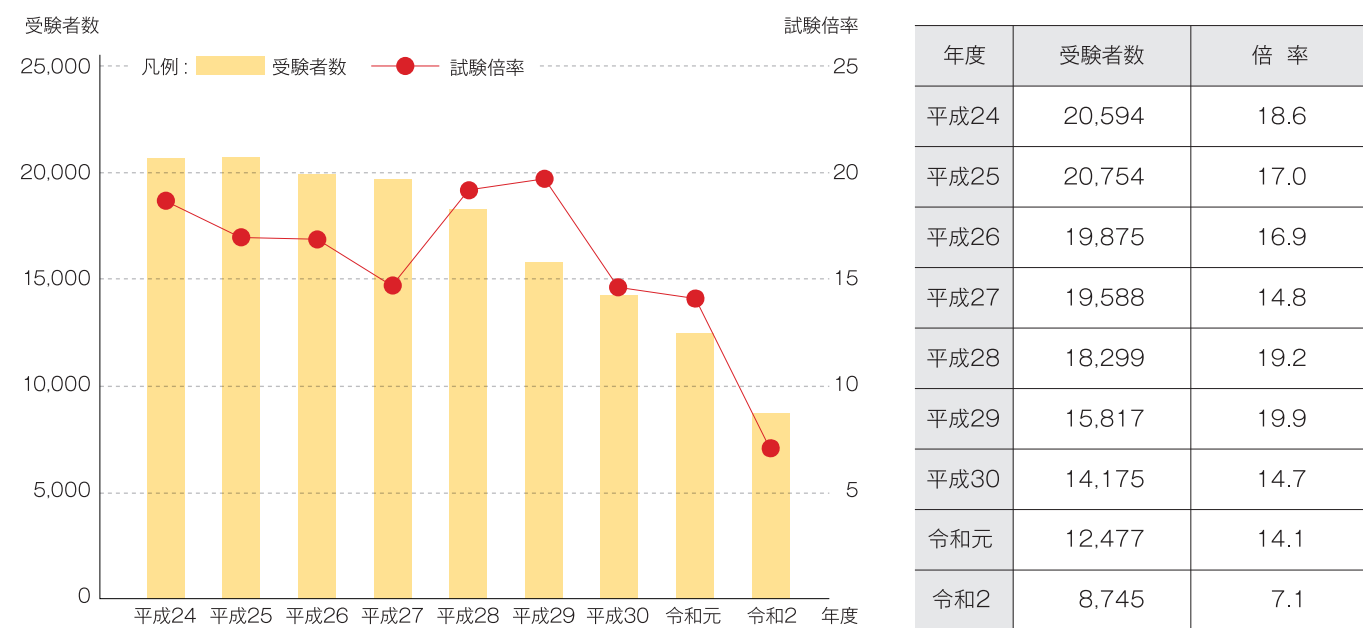
科目	内容	
第1次試験(選考)	教養試験	五肢択一式(45問出題) 2時間
	論(作)文試験	800字以上1,200字程度 1時間30分
	資格・経歴評定	保有する資格やスポーツ・音楽の経歴に応じて評定を行います。
	適性検査	消防官としての適性について検査します(専門系は第2次選考で実施します)。
第2次試験(選考)	身体・体力検査	1km走、反復横とび、上体起こし、立ち幅とび、長座体前屈、握力、腕立て伏せなど
	口述試験	個人面接を行います。

**令和2年度採用試験実施状況**

※I類2回目の試験実施状況については、東京消防庁ホームページをご確認ください。

試験区分	採用予定者数	第1次試験(選考)		第2次試験(選考)		倍率(A/B)
		受験者数(A)	合格者数	受験者数	合格者数(B)	
専門系	10名	34	25	22	4	8.5
I類	110名	2,976	819	634	437	6.8
II類	40名	1,730	651	387	262	6.6
III類	80名	4,005	966	728	522	7.7
合計	240名	8,745	2,461	1,771	1,225	7.1

**受験者数と試験倍率の推移**



**採用試験の申込み方法**

※受験資格や申込受付期間などについては採用試験(選考)案内をご覧ください。  
※各採用試験(選考)案内は、東京消防庁本部庁舎、東京消防庁管内の各消防署及び都庁案内コーナーで配布しています。

インターネット	東京消防庁ホームページの「採用案内」から「採用試験インターネット申込み」にアクセスし、画面の指示に従って入力後、送信してください。
---------	---

**採用について**

合格者は採用候補者名簿に登録され、意向聴取、受験資格の確認などを経て、原則として令和4年4月以降、欠員に応じて採用されます。ただし、欠員の状況により、令和4年4月以前に採用される場合もあります。